

# Business WAVE

## 世界のオフィスを革新する ムラテック販売の挑戦

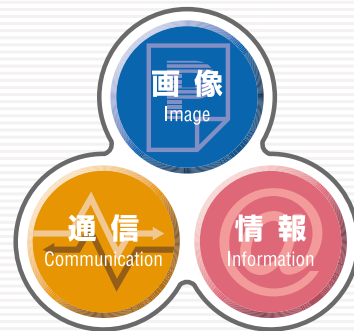
誰にでも簡単に使えるコミュニケーションマシンとして、あらゆるオフィスに存在するビジネスファクシミリ。最近では、ファクスだけでなく、コピー、プリンター、スキャナー機能を統合したMFP(Multi Function Peripherals: デジタル複合機)のニーズが高まり、ビジネスファクシミリのマーケットの70%以上を占めるようになった。MFPはオフィスネットワーク対応、さらにはインターネット、インターネットへの対応など、たゆみなく進化。まさにユビキタス社会のオフィスの中核を担う存在である。ムラテック販売は最新鋭のMFPをマーケットに提供し、オフィス環境の革新を進めている。

### 独自性 Originality

#### 通信技術を駆使したMFPでオフィスのニーズに応える

ムラテック販売が取り扱うMFPを製造するのは、1973年に一般電話回線を利用した日本初のファクシミリを世に送り出した村田機械。30年以上にわたり、独自の技術力によって画期的な製品を次々に生み出してきたメーカーである。MFPにおいても、ファクシミリ開発で磨き上げた通信技術を活かした製品づくりを推進。最先端のネットワーク技術とIP(インターネットプロトコル)技術による高性能かつコストパフォーマンスに優れたMFPを生み出している。

イメージ(画像)・コミュニケーション(通信)・インフォメーション(情報)をキーテクノロジーに、オフィス環境や通信インフラのトレンドに乗った製品をいち早く市場に提案していく。



### 革新性 Innovation

#### 技術開発力と情報収集力で「使いやすさ」を追求

ムラテックでは、オフィスネットワークへの対応を最重視した製品展開を推し進めている。MFPをオフィスのLANにつなぎ、PC/パソコンとの連携で文書管理や情報共有を行おうとする取り組みだ。インターネットFAX(通信費を不要にするIP-FAX機能も備える)、PC-FAX送受信、ネットワークスキャナー、ネットワークプリンターを一体化した『インフォメーションサーバー』という拡張キットを搭載した「Isモデル」をラインアップ。MFP本体にWebサーバー機能をもたせることで、PCでインターネットを見るのと同じ感覚で多彩な機能が利用できるのが最大の特徴だ。

このような使い勝手の向上は、ムラテック販売が市場から収集した「お客様の生の声」に村田機械の技術力で応えた結果で実現したもの。「お客様の使いやすさを第一として考える」をモットーに、ムラテック販売はマーケットが真に求める製品を提供していく。



『V-2800 Is/IP』モデルは、最新の『インフォメーションサーバープラス』を搭載し、オフィスのネットワークゲートウェイとして活用できる。また、ダイヤル登録や紙づまり時の解除方法などを音声でガイダンスする機能も備え、「高機能を使いやすく」というマーケットニーズに応えている。

### 海外展開 Globalization

#### 「ユニーク」な商品・手法で世界市場を切り拓く

日本国内のみならず米国でも「事務/通信機器ディーラーが取引したいFAXメーカーNo.1」と評価されるムラテックブランド。ムラテックグループでは、世界への販路拡大に積極的に取り組んでいる。まず、経済成長の著しい中国に進出。将来的には日本、米国、欧州、中国をコア販路としていく計画だ。中国に加え、ブラジル、ロシア、インドというBRICS諸国のマーケットも視野に置いている。商品・販路開拓手法も競合他社との差別化を明確にして「ユニーク」にムラテックの海外展開は進んでいく。



# Working WAVE

## メーカー系販売会社ならではの “モノづくり”に関わる面白さ

国内全域に拠点を広げ、ビジネスファクシミリとMFPの販売・サービスで快適なオフィス環境を支援するムラテック販売。そのビジネスの使命は、単にモノを売るのではなく、お客さまへ付加価値の高いサービスを提供すること。これによって、確固とした信頼関係を築き上げ、マーケットの「生の声」をこと細かく収集することができる。それを活かし、メーカーである村田機械と一体になって「ヒット商品づくり」に取り組めるのである。これはメーカー系販売会社ならではの醍醐味だ。

